



平成25年2月15日

- 2〜3面 松川の自然を探す旅
く生田編く
- 4面 暮らしの知識を学ぶ講座
みんなで仲良く
- 5面 青年の家だより
健康を考える集会 情報
なかつまたちすぼつと・子ども
の詩・川柳・短歌
- 6面 健康を考へる集会 情報
なかつまたちすぼつと・子ども
の詩・川柳・短歌
- 7面 健康を考へる集会 情報
なかつまたちすぼつと・子ども
の詩・川柳・短歌
- 8面 節分祭・視点・ペンペン草



まつかわ百景 ⑥8

「冬の朝」天神山展望台から

今年は例年になく寒い日が続く。みはらしのいいこの場所からも厳しい冬の空気が伝わってくる。春が待ち遠しい。

巳年の本年はじめ、図書館での子どもの会話。「へびの皮をお財布にいれると、お金がもらえるんだに！」「フウン」確かお金が入ってくるだつたよな…。でもそうして入ったお金も、出て行くほうが早くて…。昨今わずかな工夫で、

出費を減らすしか手段のない私のような人が多いのではないかと、こころをなやませています。せめて本くらいは、図書館でまかなっていただきたいと、こころをなやませています。せめて本くらいは、図書館でまかなっていただきたいと、こころをなやませています。

主張

だれでも、たいていの本なら大丈夫です

これからが楽しみ。映画化されたのは『桐島、部活やめるってよ』集英社
あります。受賞作は『何者』新潮社
あります。もう一人の直木賞受賞者、安部龍太郎さん(57歳)。歴史伝記小説でもうベテランのこの人が受賞したのも喜ばしく思っています。まだもらっていないのかという思いの方が近いかもしれない。受賞作
☆『等伯』

日本経済新聞出版社
あります。このように受賞作は、図書館で利用いただけることがおわかりかと思いますが、他にもリクエストいただけたら、たいていの本はお手元に届けられることと思います。0歳の赤ちゃんには音の繰り返し絵本を、

100歳のお父さんには大活字の本を、0歳〜20歳までどなたにも利用いただける生涯学習の無料施設です。遠慮なく私たちにご用命くださるのをお待ちしております。

まず読み物。芥川賞の黒田夏子さん。75歳という年齢で最年長受賞。それだけでも元氣付けられるのに、受賞インタビューに「生きていくうちに発見して下さってありがとうございます」との談話。この謙虚さにはますます元氣付けられてしまった!! 作品は☆『abさん』文藝春秋
近々入ります。一方、直木賞。最年少受賞者、朝井リョウさん(23歳)はすでに映画化された作品があるのですか

松川の自然を探す旅 ～生田編～



朝の冷え込みも厳しい1月12日(土)。「まだまだ知らない松川の自然を探す旅」の第3編として、この旅には欠かせない案内人の木下進さんとともに生田地区を訪ねました。今回も、松川の豊かな自然とスケールの大きさを感ずることのできた素敵な旅となりました。

地域を見守り 続けるアラカシ

胸高周囲が3・85m、樹高約9m、推定樹齢約400年以上。木下さんによれば飯伊のアラカシの中では最大のものではないか、とのこと。アラカシは、ブナ科の照葉

樹で「信濃植物誌」には「南部、伊那、木曾、谷南部、標高600m以下。本州」と記載されています。

部奈諏訪神社の標高は、約660m。信濃植物誌記載の標高以上の高地に400年以上もの昔から生き続けてきた樹です。旧生田村誌には特に記載されていないアラカシ。このアラカシは



樹齢400年以上のアラカシの太い幹

どこにでもある普通の植物と思われ人々の気にかげられない存在だったのでしょうか。ちなみに町の巨木と思われる馬坂のアラカシは胸高周囲約3・2m、樹高約20m、推定樹齢約200年でした。近郷には龍の口神社、座光寺の麻績神社。山本久米、三穂立石：等々、巨木はありますが、部奈諏訪神社ほどの巨木はないそうです。このアラカシの樹洞は朽ちていて中から太い根が伸びています。洞の中はけっこう広く、木下さんにすすめられ中に入ってみました。400年以上も地域の歴史や人々の姿を見守り続けてきた巨木から、生命の力強さと尊さを感じることができました。

夕日の丘の 照葉樹林帯

上峠は標高約1000m前後あり一番高い所の住宅は1004mです。

このような高い所でもヤブツバキ、チャ、モウソウチク、ナンテン、アラカシ等、照葉樹林帯の植物が数多く自生、栽培されています。

上峠には「観陽丘」(長野県夕日100選・平成20年)という伊那谷の美しい夕日を眺めることのできる場所があります。「観陽丘」を訪れた多くの人の中には、竹林を見て不思議に思われた方がいらっしやるのではないのでしょうか。

この丘の地続きにはモウソウ竹林があり、近くには茶が栽培されています。

さらに登って、にやんたぶうの並木のり子さんの生家にはヤブツバキ・ナンテン・モウソウチクなどが植えられています。

茶を例にとってみます。茶は秋田から沖縄まで栽培され年平均気温12・5〜13℃以上で、14〜15℃が適温、地温は15〜20℃以上の場所に生育します。

商品としてのお茶は茨城・新潟以南のようですが、上峠では昔から自家製の茶の栽培をしています。

標高759mの諏訪湖周辺にはタケもヤブツバキも見られませんが、標高1000mの上峠にこれらの照葉樹がみられるのは、生田に尾根を背負った南西斜面が西日を受けてあたたかく、冬でも地温が15℃以上を保っているからです。

暖かい土地柄に目を付け生活を始めた先人たちに感謝いたしました。



生き茂るモウソウチク林

希少植物の宝庫 松川東小学校 の植物園

松川東小学校の標高は881mです。95種145本(東小50年生)



まだまだ知らない

と植物が豊富で、その中には貴重なものもあります。



東小植物園

特に珍しい植物はサイカチ・ミヤマトサミズキ(町の天然記念物)・マメザクラ・オオヤマザクラ・ハクウンボク・キタゴヨウ・キハダ等です。サイカチやオオヤマザクラは町内では東小学校で見ることのできない貴重な木です。植物園のある山は南西斜面にあるため冬でも暖かく、近年の温暖化のせいも、また、燃料革命のため落葉かきがなくなっただけでもあつて富栄養化し、近年目立って照葉樹林系の植物が増えてきています。東小学校を出て途中の道にアベマキが生えています。ア

ベマキは標高500mに満たない照葉樹林帯の土地に生える木で幹には分厚いコルク質の樹皮をつけています。標高800mの柄山の尾根(南西斜面)に生えているということは、標高が高くても南西斜面が暖かいことを植生が示唆しているということです。

謎を秘めた濃飛流紋岩礫
のうびりゅうもんがんれき

長峰と倉平との中間点に送電線が走っていますが、その礎石附近の尾根周辺に飛驒・木曾地方に産する丸い礫・濃飛流紋岩が転がっています。濃飛流紋岩は美濃・飛驒・木曾地方に岩帯が存在する白亜紀後期の珪長質火山岩類で中央アルプス以東にはどこにも存在しない岩石です。それが生田で確認されているのです。

礫は丸みがあり、直径20cm以上もあるものもあります。丸いというところは長く流れ角が取れたと考えられ、大きいということとは流れが急流だったことを示しています。

これまで分かっていることは、中央アルプスの隆起が約70万年前頃からはじまっているので、木曾方面から隆起す

る以前におそらく流されてきていたのではないかと考えられることです。

濃飛流紋岩は松川町にとっては謎を秘めた岩石で、伊那谷の生成にもつながり、夢多き町の人達の耳目を引きつけるに十分なロマンに満ちた岩石で、町の宝物といつてはばからぬ貴重なものです。



濃飛流紋岩礫

今回、本来生息している標高よりもはるかに高いところで生息している植物がいくつもありました。『標高が100m登るほどに0・6℃気温が下がる』と言われますが、地形や日照時間等地域の実情によつて植生が異なることを生田の地域が教えてくれています。

普段の生活では、見落とすことのできる植物や石にも、案内人の木下さんに説明を受けながら実際に見て、肌で触れてみて初めてその価値に気づく事ができました。

名もない動植物や石にも、咲いている意味やそこにある意味等、長い歴史を経ながら私達に語りかけてくれているのだということを知りました。

今回3回にわけて松川の自然を巡ったおかげで、今まで知ることのできなかつた松川の豊かな自然はもちろんです。それ以上に自然の大切さを知る大切な旅となりました。これからもこの誇れる松川の自然がずっと残ってほしいと思います。



倉平からのわが町松川

手紙は心のやりとり



～手紙の書き方を学びましょう～



暮らしの知識を学ぶ講座⑥ 1月18日

「手紙」、近頃身のまわりから消えてしまったとも思えるもの。大げさかもしれませんがネット全盛の今、美しい手紙の書き方も忘れられてしまったようです。

今回の暮らしの知識を学ぶ講座は「手紙は心のやりとり」と題して菅沼嘉子さんを講師にお迎えし、その人の生き方やセンスがうかがえる手紙の書き方をお話しいただきました。

「文章を書く」

文章の書き始めと終わりに使われる頭語と結語。よく目にするのが拝啓、前略、敬具、かしこ、などで、挨拶なら「こんにちは」と「さようなら」と同じ。

その次に続くのが時候の挨拶。手紙を書いている今の季節を文章にするのですが、暑い、寒い、花が咲く、緑が濃くなる、といったように自然、行事など季節を感じられる言葉ならなんでもいいそう。

「立春の候」とか「梅花の候」などは表現をいろいろと考えなくて良いけれど、事務



講師の菅沼嘉子さん

的でそっけない感じがするかもしれません。女性なら「立春を迎える頃となりました」にすれば柔らかい印象となるのではないのでしょうか。

気をつけたいのは、独りよがりにならず相手の気持ちになること。受けとった人が気分良く明るくなる言葉を使うことで、自分との距離がぐっと縮まることもあるそうです。

といってもあまり難しく考えず楽しんで書いてみてはいかがでしょうか。

「手紙のマナー」

手紙が相手に届くまでに、いろいろなマナーを守ります。

インクの色は黒か濃い紺で色付は避けず。封筒に書く文字は正確に読みやすい楷書ではっきりと書くこと。手紙が相手の元にきちんと届くための大切な最低限のマナーだそうです。

文章を書く便箋ですが一枚で終わったときに白紙をいれたりすることも。まちがいはありませんが、工夫をして二枚になるように書くと良いようです。

原稿用紙などは失礼です。趣向をこらした便箋を楽しんで探してみるのも良いですね。さて、手紙を入れた封筒をしめるのにセロテープはやめましょう。糊付けし「ペ」ます。親しい友達ならシールを使ったりもできます。

はがきを使う時は、頂き物などのお礼など早く返事をしたい時に使うようです。その時もまわりに空白の部分を作ると美しくなるそう。

まだまだマナーがあるので、心をこめて手書きすれば必ず相手にあたたいものを感じてもらえると思います。



真剣にとりくむ参加者のみなさん

今回の講座を手紙にまとめてみました。

前略 講座を受講されたみな様、その後、いかがが経過していらっしゃいますか。

私はといえば、少し春めいた風や野山の芽ぶきの緑、ほころび始めた蕾のかわいらしさに目をむける……ことも無く仕事に追われる毎日を送っています。

パソコンのタッチパネルで文字を入力。文章といっても仕事の伝達事項くらいでまことに味気ないものです。

それでも、手紙のマナーを守って心を込めた美しい手紙が書ければ、と思っています。

受講されたみなさんの中には早速お友達に手紙を書かれた方もいらっしゃるのか。

私も季節のたよりをまずはハガキから始めてみたいと思っています。ガンバレ！私。

春ももうすぐそこまで来ていますが、まだ寒さが続きます。お体大切にお過ごしください。かしこ

5 題る みんなで
考える 権考 人を 仲良く

松川中学校

松川中学校では1月21日に秦健一さんをお招きして、「いじめ人権講演会」を開きました。

●私が秦さんのお話を聞くのは今回で2回目でした。しかし、小学校で聞いたときは違い、話の内容もよく分かったので、今回は本当に胸が痛かったです。私にも小学生の時にいじめられた経験があります。少し無視をされたり、ヘンな事を言われたりしたぐらいでしたが、とっても辛かったです。しかし、秦さんはこの何倍もの辛い思いをしていたので、話を聞いているだけの私も辛かったです。話の途中で耳をふさいでしまったかったし、泣いてしまったこともありました。このような話を聞くことができて本当によかったです。人間とは、いじめとはなど自分の身のまわりでおこっていることを見つめ、考え直すためのいい機会になりました。自分の過去を一生懸命話してくれた秦さんに感謝したいです。そして、私が感じたことや思ったことを、これからの生活に活かし、覚悟を決め、行動にうつしていきたいと強く思いました。

●秦さんのお話をお聞きして、とてもすごい方だと思いました。5年生の時に友達がいじめられていて、そこに堂々と真っ正面からいじめている子に「やめなよ」と言った秦さんをとても尊敬しました。その一言で、いじめられていた子が救われたと思います。また、どんなことを言われても、どれだけひどいことをされても我慢し、親を悲しませないように笑顔でふるまい、何も起きていないように帰っていたこと、本当にすごいなあと感じました。私は、

6年生の時に、同じクラスに無視しろと命令している子がいました。本当に、急に、次の日から無視され、ある日突然仲良くされて、次々とターゲットが変わりました。私は、その時、ターゲットにされて無視されている子に、何もあげられず、本当に申し訳なかったなと思っています。知っていても行動できませんでした。怖くて…。でも、今日、秦さんのお話を聞いて、もし周りにいじめられている人がいたら、自分から行動して、1人で無理だったら、2人、3人と増やしなから、その子を守つてあげたいと思いました。今回、お話を聞きまして、強く思いました。

●秦さんのお話を聞いて色々な思いがわいていきました。秦さんがいじめをしてる人に「そんなことやめなよ！」と言ったことから始まったいじめ。悪口を言われ、差別をされ、暴力をふるわれてしまった事実。言葉も出ません。「かわいそう」そんな簡単な言葉で片付けられないような、私たちには分からないような大きな苦しみを味わい続けてきたのだと思いました。いじめを行った人は本当に卑怯だと思えます。いじめられた人の人生をめちゃくちゃにして、でも平気な顔をしていく。私はそんな人間には絶対になりたくありません。でも、お話の中にもあったように、私も必ず誰かを傷つけているのだと思います。だから、自分が誰かを傷つけてしまったら、その人の傷口が癒えるようすぐに謝りたいです。そして、もしいじめられている人がいたら必ず助けます。その人の立場に立つて考え、その人を守ります。秦さんが本気で、真剣に、全力でお話して下さっている姿を見て、世の中の大人が全て秦さんのような素晴らしい方だったらいいのになと思いました。私は秦さんの言葉を信じます。思っているだけでなく、行動にうつしていけるようにしたいです。そして、自分の周りにいる人たちを大切に、守っていける人間になりたいです。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより (その十七)

森林整備研修
―チェーンソーを使って―

当町をはじめ長野県は森林が豊富で、山を所有している方がたくさんおられます。以前は山の木の価値が高かったので、森林の手入れをして木材生産を行ってきましたが、高度成長期以降は産業経済や社会の変化に伴い、山作業する方が減ってきました。ところが、最近になって、定年退職したあと自分の山の手入れを始めたいという方やエコ志向で薪ストーブを導入し、自分で薪を調達する需要が増えてきた方が増えてきました。この作業の中心はなんと自分もチェーンソーです。買ってはみたもののその正しい扱い方や安全な操作について詳しいことを知らない人が多い状況です。そこで、青年の家では下伊那地方事務所林務課と飯伊森林組合の協力をいただき、チェーンソーについての研修と、それを使った森林整備について体験教室を開催しました。

まず、基礎から

12月には基礎編として2回実施しました。はじめにチェーンソーを分解して構造の勉強をしてから、扱い方の基本と目立てのやり方を学んでもらいました。日ごろ使っていない方も、詳しいことを知らなかった方も多く、大変勉強になりました。後半は模擬伐倒や立ち木の伐倒、枝払い・玉切りなど基礎的な実習をしました。切るだけでなく倒すことも経験できて満足して帰っていかれました。



天竜川で伐倒体験

1月には、チェーンソーを使った森林整備研修の実践編ということで、国交省から特別に許可をいただいで、天竜川の河川敷に生えているアカシアの伐採体験を2回行いました。1回目は参加者が少なかったため、ねらった方向への



の倒し方やロープを使つての伐倒など一人ひとり体験させてもらいました。また、林務課の宮崎課長補佐からは珍しい伐倒の方法なども教えていただきました。2回目は上田・御代田・安曇野・木曾と県内各地からたくさんの方が参加してくださいました。参加者の方々に経験の差があつたので、基礎的なことを学びながらチェーンソーの扱いに慣れていく班、ゆつくり伐倒や枝払いの技術を学んでいくグループ、どんどん伐倒しそれを玉切りしながら整備を進めるグループの3班に分かれて活動しました。一日中チェーンソーの音が鳴り響き、参加者の皆さんはお疲れになったでしょうが、とてもよい研修になったことと思います。夕方になりおたがい手を振りながら県内各地へ帰っていかれました。

新たな取り組み事例も発表 第37回健康を考える集会

1月27日(日)午後1時から健康を考える集会在開催され「松川町の健康実態」「小中学校の取り組み」「各組織の取り組み」「話し合いで深めよう」の4つの大きなテーマに沿って進められました。

「医療費が増加傾向」
松川町の健康実態として、医療費が少しずつではあるが、増加していることや、検診結果から松川町では生活習慣病予備軍が近隣町村に比べ多いことなどが説明されました。

「生活習慣病予防のための取り組み」
小中学校の取り組みとして、「早起き、早寝、朝ごはん」



「食育」
「食育」などの取り組み、昨年度の血液検査によって生活習慣病予備軍に分類される生徒が多かったため、親子健康相談を実施した結果、本年度の検査では健康相談を行ったすべての子どもにおいて改善傾向がみられたこと、また万歩計を使った活動で子どもたちの運動意欲が高められ生活リズムが改善された事例などが発表されました。

「消防団でも血液検査」
各組織トップバッターは消防団、昨年度から導入した指先での血液検査を151人の団員が受けたこと、その結果全体的に結果が少し悪かったことなどから健康に気を付けたいと発表されました。続いて、元気会からパソコンを駆使した活動報告がされました。真面目で分かりやすい活動内容の合間に絶妙な笑いが挟まれていて会場から笑いが上

がっていました。そのあとは、八健会からの活動報告で、学習した介護についての発表、在宅での看取りについてなどこれからの高齢化社会を考えさせられる内容でした。西山いきいきクラブからは、会の発足に至った経緯とこれからの活動方針について発表されました。

様々な発表があり、それぞれの組織が行っている活動などを知り新しい学びのきっかけになる良い集会でした。



発表についてのグループ討議

子ども学習旅行★参加者募集

主催：松川町少年少女体操・スポーツ総合クラブ

名古屋港水族館&南極観測船「ふじ」

- ◆期 日：3月31日(日)
- ◆時 間：午前7時30分
～午後6時00分
- ◆参加費：世帯で子ども
1人目 3,000円
2人目から 2,000円
- ※付き添いの大人は、交通費なしで入館料2,000円のみ負担
- ◆定員：14名
- ◆締切：3月10日(日)



申込み・お問い合わせ先
松川町少年少女体操・スポーツ総合クラブ
川又 一郎
電話&FAX:36-5728 まで

自治会対抗バドミントン大会結果

主催：松川町バドミントン協会

1月20日(日)、町民体育館アリーナで、自治会対抗バドミントン大会が開かれました。
結果は次の通りです。

優勝	新井与
準優勝	福大栢A
第3位	

ペタンクでみんな笑って健康に “ペタンクを楽しむ会”

なまかな
今

「今日は何人
来とる? どう
やって組分け
る?」

「じゃんけんで
良いら、5人ず
つかな?」

あちこちから
元気な声が…。

毎月20日頃の
月曜日午後1時
30分より、ペタ
ンクを楽しむ
会”が開かれて
います。

この会の発足
のきっかけは高
齢者講座でのペ
タンク講習。こ
んなに楽しいん
な

す
ぽと

町民体育館アリーナ

床研磨改修完了

体育館などの木質床材
は、利用回数の多さや湿
度の変化などが要因となっ
て、老朽化が進んでしま
います。そこで町民体育館
アリーナの床の表面を削
り取り塗装する工事が、
12月18日から行われ1月19
日に完了しました。今回、

新しいバスケットルールにあ
わせたコートにするなど、ラ
インの引き直しも行いました。
また、床研磨にあわせて、
火災報知機の誤作動が生じな
いようアリーナAとBの間に
あるネットの取り付け位置を
変更しました。

町民体育館は、毎日大変利



ジャンケンポンで組分け

なら毎月1回くらいやってみ
たい。だったら公民館の自主
企画で立ち上げたら?という
ことでスタートしたそうです。
現在会員は男女合わせて10
名。年齢は70代から80歳代ま



どちらが近いか真剣に計測

での元気なメンバー。皆さん
それぞれ個性全開で大いに楽
しんでいらつしやいます。
取材に伺ったつもりが、い
つのか引き込まれ一緒に
なつてプレーさせていた、だき
ました。多少は若い私ですが
パワーに圧倒されつばなしの
大変楽しいひとときでした。



用の多い施設です。少し
でも長く使えるようにこ
れからも大事に使いましょ
う!!

こころの詩

いくぞ
北小2年 さか口 りょう
とびばこをした。
さいしよは
5だんがでできなかった
けど

だんだんと、
とべるよつになつた。
それで、5だんがとべたし
一番左の、大きなとびばこも
できるよつになつた。

足が前に出せなし
強くロイター版をふめたから
せつたい、できると思つた。

自分が行くぞと、
心に決めたので
せつたい、とべると思つた。
とびばこが、楽しくなつた。

ウサクんのせわ

北小2年 大さわ ゆつき

ウサクんのせわをした。
強いウサくんもいる。
弱いウサくんもいる。

時とき、広場に出したら
「ヒョーン」と広場からジャンプして
出ちゃつた。

やつぱり
じゆうがいのかな。
「まっつて。」
みんなでおいかけた。
でも、そつとね。
大きな声は、だめなんだ。
ウサくん
ひつくりしちゃうから
一年生にも
教えてあげなきゃ

川柳

なわとびも
昔は飛べた 3分間

円安で 上がればいいな
僕のこづかい

クレジット
ポイント欲しさに 無駄遣い

目に見えぬ
人の心と 活断層

遠き地で
散らされし命 無念とする

短歌

堀木 睦子 (諏訪形)

昇り来し大き朝日に向かう時
新しき吾の生れる気のする

「なんだ坂こんな坂」よと大き
息吐きつつ歩むウォーキングの道

薄暮道一人で行けば黒きひも
蛇に見えたり木が人に見ゆ

電柱の上から下界を見下ろせ
る孤高のガラスに身の竦みおり

新しき手帳に記す予定表四月
の旅に花丸つける



まちの石仏 ⑳

「蚕玉大明神」(新井 元滝場)

現在町内で確認されている中で最も大きい蚕玉様。



節分の日の2月3日(日)大島地区に恒例の鬼たちが現れました。20年以上続く伝統ある行事で今年も多くの子どもたちが鬼たちと良い子になる約束をしました。
桜山不動尊で、区民の健康を祈願したあと3つのグループに分かれ大島地区の家庭を練り歩きました。太鼓の低い「ドコドコドコ」という音が聞こえると子どもたちの表情が一変し現れた鬼に、力一杯に豆をぶつけてから良い子になる約束をしました。鬼が

去った後には、おかめが現れお菓子を渡してもらうと子どもたちも一安心の様子。
家庭だけでなく清流苑や飲食店もまわった鬼たちは、居合わせたお客さんともしっかり触れ合うことができ楽しませてくれました。
映像で見ているだけではなかなか伝わらない恐怖感や、子ども達は、太鼓の音、迫力のある声で味わい、貴重な体験ができたことと思います。



清流苑にも出沒



各家庭で



おかめで一安心



良い子になります



◎◎◎◎◎

夜10時すぎ 部屋でテレビを見ながらふと思う。
「ホテチ食べたい。」

大抵はごまかしてやりすごすのだが、時々そのちいさなつぶやきがデモ行進にまで発展する事がある。そうなつてしまえば優秀なネゴシエーターを以ってしても沈静は不可能だ。

しかも悪いことに、こういう事態に備えて我が家に必ず1袋はストックしてしまつてあるのだ。コンビニに駆け込んでチョコ菓子や砂糖のたくさん入った炭酸飲料も買つてきてしまう事を思えば苦肉の策である。

こうして突如起こつた脳内デモに押し切られた私は、もそもそとキツチンにたつた。

「わかっちゃいるけどやめられない。」

人知れず口ずさみながら夜はふけていく。

ちなみにうすしおには七味マヨネーズ、のりしおにはからしマヨネーズをつけるど美味である。お試しあれ。

久保田さち子

公民館報 「まつかわ」 第 592 号 平成25年2月15日

発行所 松川町公民館 責任者 矢澤 登 編集人 公民館編集部 Tel 36-2622 e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp 印刷所 龍共印刷(株)